令和４年度　学校関係者評価書

学校園名　附属小金井小学校

１　学校関係者による評価

領　域	学校関係者による評価と今後の課題
学校運営	**【新型コロナウイルス感染症への適切な対応】** ●コロナによる通常とは異なる対応が平常の業務に加わることは、大きな負担だと思いますが、その中でも、家庭との連携によって、クラスターの発生を防ぐことができたのは大きな成果だと思います。 ●学級閉鎖をせず、オンライン授業で学びを継続させたことは、素晴らしい判断および取り組みであったと敬意を表したいと思います。 ●臨機応変な対応が求められる中、「学業の継続」を軸に適宜適切な対応をされていると感じました。引き続き、コロナに限らず季節的な感染症予防対策を含め、その時々に合わせた柔軟な対応を行っていくほかないかと思います。 ●適切な対応で、しかも授業が継続されたことは大いに評価されることと存じます。 ●複数の陽性者が発生した際に、オンライン授業を実施してくださったことは、とてもよいことだと思いました。実際に感染し、回復後にオンライン授業を経験しましたが、子どもはオンライン上でも先生やクラスメイトに会えることで、生活にメリハリがつき、精神的な回復が大きかったように感じました。 **【いじめ防止等への取り組みの充実】** ●いじめ防止等の取り組みについては、人的・金銭的なリソースが限られる中、精一杯の対応をされていると思います。初期対応においては確かに「スピードが最重要」だと思いますので、ご提示の方策で問題ないかと存じます。 ●いじめ等への対応は、その内容を教職員全体で共有することが大切と考える。担任の指導を学校全体で補佐し、その効果を高め、確かなものとするための共通認識の場・時を作ることが必須で、各々の教職員がその子に対した内容も共有化し、成果も共有することができる体制を作ることが必要と考えます。（学校運営計画上に示され、充分配慮されていると感じますが） ●担任の負担を軽減するための一つの方法として、誰が、何を、どのようにするのかを時系列で示した指導マニュアルを、Ａ４版１枚程度に分かりやすくまとめ、年度初めに共通理解を図るとよいのではないか。 ●いじめ対応は、複雑で繊細な事象であり、非常に難しいと感じています。軽微な時点で確実に対応するという点からも、対策委員が全員集まらなくても会議が開催されることは非常によいと感じました。また、いじめに関わらず、保護者から担任への問い合わせがチャットに変更になったことについて、安易に担任への連絡がされて、担任の負担になっていないか気になります。 ●いじめは隠れたところで行われますし、最近はSNSなどの問題もあり、発見や指導が難しくなっていると思います。できるだけ担任の負担を軽減するため、保護者や地域も協力できたらよいと思います。

	【宿泊生活の充実】 ●コロナ禍で「できること」「できないこと」をそれぞれ明確にし、本年度の宿泊生活を実現されたことは素晴らしいと思います。コロナ禍前の宿泊生活に完全に戻すことはまだ難しいかもしれませんが、「できること」の幅を少しずつ広げていかれるのがよいのではないかと思います。 ●体験学習による実体験の重要さを感じているので、林間・臨海学校の復活は嬉しい限りです。リスク等の話はつきまとうと思いますが、ぜひ続けていただきたいと考えます。 ●コロナ禍において、宿泊生活が再開されたことは大変よいことだと感じました。非常に難しい判断の連続であったと思いますが、そのような中で実施していただき、感謝しております。一方で、学校生活の中でも宿泊生活を見据えた取り組みが明確だとよいのではないかと感じました。近年、世の中全体の傾向として、個を尊重する考えが強くなっていると感じますが、宿泊生活では協調性や集団行動が非常に大切であると認識しています。宿泊生活の目的や子どもの成長の大きさを、折にふれて保護者にもしっかりと理解してもらう機会があるとよいと思いました。
教育活動	【児童の学習・生活】 ●先生方は子どもたちの話をよく聞き、自分たちで考えさせ、自発的でやりがいのある授業を大変上手に指導されている印象を受けました。 ●ほとんどのクラスでタブレット端末を使いこなす児童に力強さを感じました。また、各々の作業への集中力にも感動しました。 ●通常の授業については、見学の度にＩＣＴ活用が進んでいることを実感しています。以下の点についての工夫・改善を提案します。 ①視力低下防止のために、画面の明るさの基準を示し、文字サイズを一定量拡大するよう指導する。 ②家庭での適切な使用ルールを明文化し、家の机の前に掲示するプリントを配布する。使用ルールについては、できれば保護者の代表や児童会の代表も入れて作成する。 ③散漫な授業にならないよう、今、何をするのかを明確にする。 ●本校の児童は、 誇りをもって過ごしていますが、 外では、それがやや驕りとして現れていると思える場にも遭遇します。真の誇りある姿を望みます ●暑さ寒さが厳しくなっていますが、自ら着衣を調節して対応する力を育てていきたいと感じています。朝礼すら耐えられない子もいて心配です。
研究活動	【研究成果の積極的配信】 ●最大限の参観者数を目指すことが目的なのであれば、オンライン開催が適切ではないかと感じました。一方でライブ感も非常に重要なのではないかと感じる次第ですので、そちらを重視するのであれば対面開催を基本とし、後日、録画した動画を視聴できるオンデマンド方式にすれば、運営の負担も減るのではないかと感じました。 ●新たな教育課題が山積する現在、全国の小学校現場で役立つような課題解決の具体的提案（校内研究の成果としてデータ付きで）を積極的に発信することを期待しています。 ●各教科が掲げているテーマが分かりやすく、あえて「こえる学びの拡張」という全体テーマを設定しなくてもいいのではないかと思いました。授業外での拡張を校外宿泊生活の場で大いに活かし、見取ることができるのではないかと感じました。 ●日本全国の先生方が研究活動を通して交流されていることで、子どもたちの学びがよりよくなっていくのだろうと感じました。未来を担う子どもたちを他方面から教育してくださる先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

学生の教育・支援活動	**【学部及び大学院の授業等への協力】** ●学校現場や民間教育現場等で、学芸大学出身の方が優秀であるという話をよく聞きます。優秀な教員を育てる有効な方策は、①優れた授業をたくさん見学すること、②優れた実践書をたくさん読むことの２つに尽きると考えますので、貴校での実習経験は、大きな役割を果たしていることは間違いありません。今後とも充実されることを期待しております。 ●学生は 附属小学校での学習を大変貴重なものとしているようです。その分、先生方は準備にご苦労があるかと存じますが、子どもに接して教職への思いを深めるようです。ご指導をよろしくお願いいたします。 ●実際の教育現場での雰囲気・やり取りは、やはり実際の様子を見て学んでいただくことだと思いますので、ご提示の方策でやっていただくのが適当であると思います。 ●教員の人材不足が深刻ですが、コロナが収束しましたら、できるだけ多くの学生に参観の機会を提供していただき、より質の高い、やる気のある人材を増やしていただきたいと熱望しています。
社会貢献活動	**【地域教育界との更なる連携の強化】** ●日常的な学校での指導にとどまらず、地域教育界との連携に教員の皆様が主体的に取り組まれているのは素晴らしいですし、頭が下がる思いです。引き続き、可能な範囲で貴校がもつノウハウ・メソッドを還元していただきたいと思います。 ●附属小学校があることで、地域の教育力がアップすると思います。多様な子どもたちに日々接し、苦労している地元の教員たちへより質の高い指導力を広めてほしいと切望します。難しいことでしょうが、子ども同士の交流の場があってほしいと願います。 ●ご多用とは存じますが、地域との連携は素晴らしいと思いますので、続けてください。我々地域住民にも、力になれることがあったら、お声かけください。

２　評価の実施概要

●2022年6月28日　第1回学校評議員会

昨年度の自己評価書及び学校関係者評価結果の説明、今年度の学校経営計画重点目標と具体的取組及びいじめ防止基本方針の説明

●2022年10月6日　第2回学校評議員会

委員による授業や教育実習の参観、施設・設備の観察、校長・副校長や児童との対話、重点目標やその取組状況の説明

●2023年2月22日　第3回学校評議員会

自己評価の結果の説明、学校関係者評価委員からの評価

●2023年3月22日　学校関係者評価委員会(書面会議)

３　学校関係者委員会委員、開催日

●委員：学校評議員6名、保護者と教師の会学校役員幹事(本校児童の保護者)1名

●開催日：2023年3月22日